

ジャーナリズム・フォーカス

「知的障害者サッカーをテーマにして」

見えにくいもの、伝えにくいものを見つめる

1 「ジャーナリズム」、あるいは「ジャーナリスト」と聞いて、あなたは何を連想するでしょうか。危険な地域に潜入し、文字どおり命をかけた取材を行う風景でしょうか。あるいは、政財界の巨物と緊張感あふれるインタビューをしている風景でしょうか。いずれにしても「ジャーナリズム」の世界は、日常生活とは違ったイメージがあるかもしれません。

2 Journalism

でも、いろいろな出来事を見る、感じる、伝えるという作業は、「ジャーナリスト」だけがやっているものではありません。私たちが日常生活の中で、ごく普通にやっている作業といえるかもしれません。ではなぜ、「ジャーナリスト」という専門家、プロフェッショナルが存在するのでしょうか。それは、彼等、彼女たちが、「伝えることのプロ」であるからです。



3 Focus

では、「伝えることのプロ」である人たちは、どんな視点で毎日を見ているのでしょうか。みなさんと違う視点、感性で毎日を見ているのでしょうか。それを今回のワークショップでは考えてみたいと思います。「ジャーナリズム」という世界に興味がある方、自分のものの見方を改めて検証したい方、職種経験は問いません。問題意識のある方の参加を、お待ちしております。

■日時と内容

※各回参加の前に、必ず事前課題があります。

第1回 自分のアンテナを確認する

日時：5月8日(土)

11:30開場 12:00開始 17:00まで

会場：文京シビックセンター 会議室1

目的：日常生活の中で、何に関心を持っているのか。なぜ関心を持ったのか。生活の中でのジャーナリストの視点を確認する。

内容：新聞のベタ記事のなかから興味のあるものをひとつ選ぶ。なぜそれを選んだのかの話し合い。

第2回 実際に見てみる、体験する

日時：5月15日(土)

11:30開場 12:00開始 17:00まで

会場：開催後アナウンス致します

目的：記事、写真、話だけでは分からないものを、主体的に確認する。他人の感覚と自分の感覚の相違を知る。客観性と主観性について考えてみる。

内容：知的障害者サッカーに親しむ。現場で見る、空気を感じる、話を聞く、実際に自分でプレイする、練習を手伝うなどして、取材以前の現場を感じる。

第3回 考える力を話し合う

日時：5月22日(土)

11:30開場 12:00開始 17:00まで

会場：文京シビックセンター 会議室1

目的：前回は踏まえて、自分の感覚と他人の感覚を共有し、相違点を考える。主観と客観の整理。

内容：自分が感じたことを、それぞれ伝えあう。伝え方については、特に制限を設けない。

第4回 よりよく考えて生きるためのジャーナリスト感覚

日時：5月29日(土)

11:30開場 12:00開始 17:00まで

会場：開催後アナウンス致します

目的：これまでの流れを含めて、自分でのためのテーマを見つける。

内容：これまでを振り返りつつ、伝えるべきことは何か考える。自分のテーマを実際にいくつか考えてみる。

■講師・ファシリテータ

ヤハギクニヒコ(矢萩邦彦) アルスコンピネーター/株式会社スタジオアフタモード代表取締役
湯山尚之(ゆやまたかゆき) ジャーナリスト/『夢・プライド inブルー』著者

■定員 20名 最終申込期限は2010年4月30日 但し、定員になり次第締め切り

■参加費用 ￥45,000 (4回)

※ワークショップ参加費。その他発生する資料代、昼食代、交通費、取材費、機材費等は各参加者の負担となります。
※1回目のみ単回参加可能。その場合は￥12,000。但し、参加申込が定員を超えた場合は4回通し参加者を優先します。
※お支払方法は原則として事前一括払いですが、ご相談に応じます。下記フォームよりお問い合わせ下さい。

■参加方法

申し込み
エントリーフォーム <http://www.joinpartners.jp/entry/mail>

質問・その他

お問い合わせフォーム <http://www.joinpartners.jp/contact/mail>
お問い合わせ電話番号 03(5201)3705 (代表)

■主催・運営 ジョインパートナーズ株式会社 ワークショップ事業部

■協力：株式会社スタジオアフタモード 横浜F・マリノス フトゥーロ (五十音順)